

2020



ゴール
ドッジ

2020年度ゴールドドッジMIX大会 1st Round 報告書

2020年11月24日

日本ドッジビー協会

開催要項

大会名： 2020年度 ゴールドタッチM I X大会
2020Season GoalDodge MIX Tournament

主催：一般社団法人日本ドッチビー協会

日程：2020年10月25日（日）

場所：MIFA Football Park 豊洲 江東区豊洲 6-1-23

協力：株式会社クラブジュニア
株式会社ssbee

協賛：文化シャッター株式会社
ミカサ株式会社
ワタミ株式会社
東京キリンビバレッジサービス株式会社



競技方法・参加チーム

- 部門構成：M I X 部門（チームに女性および中学1年生以下の選手が複数所属）
- 対戦形式：総当たり戦
- 試合人数：5人 対 5人（常に、女性および中学1年生以下の選手が1名以上出場）
- 試合時間：前半7分 後半7分 合計14分

参加チーム：合計4チーム 43名

チーム名	人数	主構成
style	11人	クラブチーム 20代
山葵	10人	社会人チーム 30～40代
NDCヤソップ	9人	クラブチーム 10～40代
チャレンジファイターズ	13人	親30～40代+小学3年生

大会スケジュール

ゲームNO	Time	対戦	対戦
1G	14:20~14:40	NDCヤソップ	チャレンジファイターズ
2G	14:45~15:05	山葵	style
3G	15:10~15:30	NDCヤソップ	style
4G	15:35~15:55	チャレンジファイターズ	山葵
5G	16:00~16:20	NDCヤソップ	山葵
6G	16:20~16:40	チャレンジファイターズ	style

大会結果・表彰

順位	チーム名	勝敗	勝点	得失点差
優勝	style	3勝0敗	9	+9
第2位	山葵	2勝1敗	6	+10
第3位	NDCヤソップ	1勝2敗	3	+8
第4位	チャレンジファイターズ	0勝3敗	0	-23

- 優勝チームを表彰
- 賞品：【MIKASA×KUMATANドッチビー】

MIKASAと若槻千夏さんプロデュース「クマタン」とのコラボドッチビーです。
公式ディスクですので、DBJA主催公式試合での使用も可能です。



参加賞

- ドッチビー270
- ワタミ割引券
- 文化シャッター株式会社ロゴ入りフリクションペン



新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染拡大後、初の主催大会として、様々な対策を実施しました。

- 日程を分散し、3時間以内/日のコンパクトな大会として開催
- 大会1週間前から日次検温チェックリスト作成
- 当日の検温、手指消毒
- 主審、副審、スタッフのマスク着用
- 開会式、閉会式、試合前整列の省略
- 試合動画のネット配信

<https://8bee.jp/archives/20%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e3%83%bbgoal-dodge-mix-in-mifa%e8%b1%8a%e6%b4%b2-201025/>

今後も感染状況や各種ガイドラインを参考に、安全な運営に努めてまいります。



スコアシートと個人成績の導入

今大会より、各チームにスコアシートの記録をお願いし、個人成績（ゴール数、ブロック数）集計を導入しました。各成績は、以下の通りです。

順位（ゴール数）	選手名（チーム名）
第1位 6ゴール	國安 大樹 選手（NDCヤソップ）
第2位 5ゴール	アンドレ シュッツ 選手（山葵） 大杉 健斗 選手（NDCヤソップ） 高橋 天翔 選手（NDCヤソップ） 佐藤 遼平 選手（style） 乙川 統央 選手（style） 三浦 奏 選手（山葵）
第8位 4ゴール	稲垣 健太 選手（style）
第9位 3ゴール	志田原 光 選手（NDCヤソップ）
第10位 2ゴール	愛甲 隆行 選手（チャレンジファイターズ） 吉田 誠 選手（style） 佐々木 怜奈 選手（山葵） 大野 雅史 選手（山葵） 大西 奏大 選手（チャレンジファイターズ） 中川 裕也 選手（NDCヤソップ）
第16位 1ゴール	江川 藍未 選手（NDCヤソップ） 濱田 有未 選手（山葵） 大野 千尋 選手（山葵） 大北 弥鈴 選手（山葵）

順位（ブロック数）	選手名（チーム名）
第1位 12ブロック	愛甲 隆行 選手（チャレンジファイターズ）
第2位 11ブロック	稲葉 俊 選手（チャレンジファイターズ）
第3位 9ブロック	三浦 奏 選手（山葵）
第4位 8ブロック	松島 民世 選手（NDCヤソップ）
第5位 6ブロック	吉田 誠 選手（style） 石田 七星 選手（NDCヤソップ）
第7位 5ブロック	稲垣 健太 選手（style） 佐々木 怜奈 選手（山葵） 海東 奈水子 選手（山葵） Levi Booth 選手（山葵）
第11位 4ブロック	國安大樹 選手（NDCヤソップ） アンドレ シュッツ 選手（山葵） 大杉健斗 選手（NDCヤソップ） 志田原光 選手（NDCヤソップ） 江川藍未 選手（NDCヤソップ）

講評 (1/3)

初めての会場となるFootball Park MIFA豊洲にて、初めての「MIX」と冠したゴールドッチ大会が開催され無事予定6試合を行うことが出来ました。

コロナ禍での状況の中、検温や消毒などの感染対策、また参加者・観戦者の皆様、会場となったMIFAのスタッフの皆様、そして各協力企業の皆様にもご理解ご協力いただき無事に終了できましたこと心より御礼申し上げます。

試合は快晴の非常に気持ちよいお天気の中、風もさほど強く吹かずにプレーしやすい環境にて行われました。



講評 (2/3)

優勝は3連勝の強さをみせた「style」。ベンチも含めた選手層の厚さ、また豊富な体力面でも終始優位に試合を進め、着実にゴールを重ねて見事な優勝でした。シュート力、ディスクコントロール、ディフェンス力など総合的な実力の高さを示し今後は追われる存在になるでしょう。

2位に入ったのはミックスアルティメットチームの「山葵」。試合序盤はルールに慣れず、ダブルディフェンスの反則などで勿体ない失点を重ねましたが、徐々に戦い方を覚えたのか集中力の高いディフェンスでターンオーバーを起こしてシュートチャンスを生かしました。シュート精度を高めればこれから面白い存在になるでしょう。



講評 (3/3)

惜しくも3位となったのは「NDCヤソップ」。いつもの細かいパスワークと素早いディスク運びで優勝したstyleと僅差のゲームを演じましたが、屋外大会の影響もあったのか、シュートが僅かに枠を捉えられなかったり相手のナイスセーブに阻まれる場面も。11月の大会でも必ず修正し脅威的な存在となるでしょう。

第4位には「チャレンジファイターズ」。大人と子供の混合チームで、体格や体力面で差がある中最後まで声を出ししっかり戦い抜きました。特に最終戦のstyle戦では序盤2-1でリードする場面も。惜しくも敗れはしましたが、大会の中で成長しており今後に目が離せません。

次回は、同会場で11/29日（日）に開催されます。

勢力図がどう変わるのか乞うご期待！



